

旭川放射線技師会
第80回定期総会議案

2026年5月9日(土) 14:30~

市立旭川病院 3F 大会議室

第八十回 旭川放射線技師会 定期総会 式次第

一、開会の辞

一、会長挨拶

一、表彰

一、来賓挨拶

一般社団法人 北海道放射線技師会 副会長 秋吉 和也 様

公益社団法人 日本放射線技術学会北海道支部 副支部長 谷川 琢海 様

一、議長並びに書記選出

一、資格審査員報告

一、議事

一. 二〇二五年度 事業総括

二. 各部報告 総務部

学術部

広報部

三. 会計報告

四. 会計監査報告

五. 二〇二六年度事業計画（案）

六. 会計予算（案）

七. その他

一、役員改選

一、議長退席

一、閉会の辞

特別講演

「臨床工学って実はこんな仕事してます！」

—業務の多様化とチーム医療での新たな役割—

公益社団法人 北海道臨床工学技士会 道北支部長

成田 孝行 様

2025 年度事業総括

2025 年度は、劇的に変化した年でした。いわゆる人口動態における 2025 年問題にはじまる人手不足、移民問題、円安、物価高などの早急に解決をしなければならない課題が山積の状況になっています。

医療においても 2025 年問題は顕著で、「団塊の世代」がすべて 75 歳以上の後期高齢者となり、医療需要がピークに達する一方で、支え手となる現役世代が減少する深刻な局面にあります。

病院経営も厳しい情勢ではありますが、だからこそ我々診療放射線技師は、単なる「撮影の専門家」から、AI の活用、医療 DX やタスクシェア/シフトを担う「チーム医療の要」となる事を期待されていると思います。

CT や MRI における自動ポジショニングや画像再構成、読影補助 AI の導入が標準化しつつあり、単純な操作業務は自動化される時代となりました。我々には「AI の精度管理」や「高難度の撮影技術」など、より高度な専門性が求められるようになりました。

また、「患者への寄り添い」といったアナログ的な要素も重要さが増しており、双方のバランス感覚が必要ではないかと考えます。

さて、2025 年度の旭川放射線技師会の事業総括ですが、2025 年 4 月 5 日に旭川トーヨーホテルにおいて第 79 回定期総会を開催いたしました。表彰は、優秀論文賞として、谷口 広夢 氏（旭川厚生病院 医療技術部 放射線技術科）に贈られました。来賓として、一般社団法人 北海道放射線技師会 岩崎秀樹副会長・秋吉和也副会長、公益社団法人 日本放射線技術学会北海道支部 蝶野大樹支部長が出席され、岩崎副会長・蝶野支部長よりご挨拶をいただきました。3 氏には、業務多忙の中ご挨拶いただき感謝申し上げます。蝶野支部長におかれましては、特別講演の講師としてもご登壇いただきました。

議案審議の結果、執行部の提案通り可決されました。特に、規約改正で会費の減免についてと松本副会長の異動による副会長業務分担について報告いたしました。円滑な審議進行に感謝申し上げます。

総務事業として、会員動向の把握、会費納入の促進を行いました。北海道放射線技師会との会員情報の連携に努め、管理しているところです。役員会は 5 回開催し、事業について検討してまいりました。

女子部会の活動についての支援をいたしました。

第 49 回札幌放射線技師会杯野球大会（於：北海道科学大学グラウンド）にご招待いただき、旭川技師会野球部として参加し、優勝するという快挙を達成しました。詳細は旭放技だより 179 号をご参照ください。野球部としての活動は、残念ながら今回の事業で一区切りとなりますが、親睦事業としての大いなる功績

を残してもらえたものと考えます。

学術事業では、今年度は「救急画像」をテーマに10月10日、旭川厚生病院別館講堂にて、2025年度学術講演会が開催しました。平日の対面式講演ではありましたが、参加者も42名を数え大変盛況でした。

旭川放射線技師会会員研究発表会を11月8日に市立旭川病院にて開催しました。集合形式で開催し、盛況のうちに終了することができました。施設紹介、特別講演で発表いただき、感謝申し上げます。

第14回学術セミナーは、残念ながら当会の諸般の事情で開催ができませんでした。申し訳ございません。

リサーチネットワーク委員会はSTAT画像報告をテーマに活動を開始しました。会員の皆様のご意見や参加をお待ちしております。

広報事業は、年1回の会誌、年3回の旭放技だよりの発行、ホームページの管理、メールマガジンの配信を行いました。メールマガジンの登録者も少しずつ増えてきており、最終的には会誌のデジタル配信を目標に会員の皆様にご理解いただけるよう活動しました。

9月23日秋分の日に道北アークス大雪アリーナにて、あさひかわ健康まつりが開催され、当会として2019年以来の参加をしました。3,000人に迫る来場者があり、市民への健康増進に対する意識向上に貢献できたものと考えております。

日本診療放射線技師会事業として、「告示研修」は2026年2月を最後に北海道開催は終了しました。新年度以降は、東京と大阪で引き続き開催されるということです。

北海道放射線技師会事業として、北海道放射線技師会学術大会をはじめ学術事業はかなり力を入れているところです。

課題の多い2025年度でしたが、役員的一致団結と会員のご協力のもとに無事終えることができました。要望があれば、気軽に役員へご連絡をいただきますようお願いいたします。

以上で、2025年度事業総括とさせていただきます。

総務部 2025年度 事業経過報告

2025年	4月1日	旭放技メルマガ	Vol. 46	配信
	4月5日	第79回 定期総会 会場：旭川トーヨーホテル 2階 「丹頂の間」 1. 表彰 1. 総会議事 1. 特別講演 1. 情報交換会		開催
	5月16日	旭放技だより	Vol. 178	発行
	5月20日	旭放技メルマガ	Vol. 47	配信
	5月21日	役員会	第1回	Web
	7月1日	旭放技メルマガ	Vol. 48	配信
	7月8日	リサーチネットワーク委員会	第1回	
	7月17日	役員会	第2回	Web
	7月28日	旭放技メルマガ	Vol. 49	配信
	8月1日	旭放技メルマガ	Vol. 50	配信
	8月18日	旭放技メルマガ	Vol. 51	配信
	9月1日	旭放技メルマガ	Vol. 52	配信
	9月7日	野球部 札幌放射線技師会杯野球大会		優勝
	9月23日	旭川健康祭り 会場：大雪アリーナ		参加
	10月3日	旭放技メルマガ	Vol. 53	配信
	10月10日	学術講演会 会場：旭川厚生病院 別館講堂		開催
	10月10日	旭放技だより	Vol. 179	発行
	10月14日	旭放技メルマガ	Vol. 54	配信

	10月22日	役員会	第3回	Web
	10月27日	リサーチネットワーク委員会	第2回	
	11月4日	旭放技メルマガ	Vol. 55	配信
	11月8日	会員研究発表会 会場：市立旭川病院 大会議室		開催
	12月2日	旭放技メルマガ	Vol. 56	配信
2026年	1月5日	旭放技メルマガ	Vol. 57	配信
	1月13日	旭放技だより	Vol. 180	発行
	1月18日	女子部会	ピラティス体験会	
	1月20日	役員会	第4回	Web
	1月20日	旭放技メルマガ	Vol. 58	配信
	1月26日	優秀論文選考委員会		
	3月2日	旭放技メルマガ	Vol. 59	配信
	3月3日	旭放技メルマガ	Vol. 60	配信
	3月25日	役員会	第5回	Web

会員動向（2026年4月1日現在）

【新入会員】

水上 天澄	士別市立病院
山口 桃	市立旭川病院
島田 優月	旭川赤十字病院
片岡 誠滋	旭川赤十字病院

【転入会員】

高橋 靖智	J A北海道厚生連旭川厚生病院
澤田 英典	J A北海道厚生連旭川厚生病院
田口 知明	J A北海道厚生連旭川厚生病院
橋上 栞奈	J A北海道厚生連旭川厚生病院
瀬尾 樹生	J A北海道厚生連旭川厚生病院
谷定 綾香	J A北海道厚生連旭川厚生病院
首藤 竹司	旭川圭泉会病院

【勤務先変更】（括弧内は旧勤務先）

大野 肇	(市立旭川病院)	医療法人社団志恩会 相川記念病院
佐々木 雅人	(市立旭川病院)	自宅会員
佐藤 順一	(旭川医科大学病院)	自宅会員
佐野 正俊	(森山メモリアル病院)	自宅会員

【転出会員】（括弧内は旧勤務先）

松本 和久	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	帯広厚生病院
阪野 彰文	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	帯広厚生病院
藤田 悠輔	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	帯広厚生病院
咲田 晴希	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	帯広厚生病院
橋崎 陸	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	帯広厚生病院
中村 円香	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	遠軽厚生病院
澤田 優作	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	ハスカッププラザ苫小牧市保健センター
澤田 英典	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	苫前厚生クリニック
高玉 慎吾	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	本部施設整備課
五十嵐 雨音	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	遠軽厚生病院
山上 竜弥	(J A北海道厚生連旭川厚生病院)	遠軽厚生病院
棒手 康弘	(旭川赤十字病院)	足寄町国民健康保険病院
太田 和幸	(国立病院機構 旭川医療センター)	北海道がんセンター

【退会者】

池田 カ一	(医療法人社団 吉田病院予防医療	野村 和弘	(旭川赤十字病院)
センター)		岩田 邦弘	(旭川医科大学病院)
川口 裕二	(旭川赤十字病院)		

2025 年度 学術部活動報告

1. 令和7年度学術講演会 (2025年10月10日(金)) : 旭川厚生病院
参加人数 42名

○教育講演

救急の頭部MRI

小樽市立病院 伊原 陸 様

※北海道放射線技師会に、テーマに沿った講師派遣を依頼

2. 会員研究発表会 (2025年11月8日(土)) 市立旭川病院
参加人数 78名

○会員報告

会員報告

新しいMRI装置 Philips MR5300の紹介

旭川赤十字病院 今村 美月

○リサーチネットワーク委員会報告

STAT 画像報告の現状と課題

旭川赤十字病院 池田 悠太

○特別講演

急性腹症の画像診断 ～超音波検査を中心に～

帯広厚生病院 技師長 中村 俊一 様

※日本放射線技術学会北海道地方会講演ライブラリの利用

○一般演題

Section.1 一般撮影

座長 : 旭川医科大学病院 吉田 瑛

1. 病棟ポータブル撮影における Flat Panel Detector (FPD)使用時の皮膚損傷予防および苦痛軽減を目的としたクッション素材の選定と FPD カバーの臨床的有用性の評価

士別市立病院 戸奈 千春

2. 胸部正面撮影時における吸気不足と正面性の容易な確認方法の検討

市立旭川病院 山口 桃

3. 胸部ポータブル撮影における PICC 位置確認時の画像処理条件の検討

旭川赤十字病院 中山皓太

Section.2 MMG・CT・PET

座長：市立旭川病院 松浦 一生

4. CT コロノグラフィにおける Pitch Factor と病変の視認性の関係

旭川厚生病院 奥山 廉大

5. 当院マンモグラフィにおける FFDM と SMG の臨床画像に関する比較検討

旭川厚生病院 五十嵐 雨音

6. アミロイド PET における臨床応用を見据えた短時間収集時の最適再構成法の検討

旭川医科大学病院 住吉 奏

Section.3 放射線治療

座長：旭川厚生病院 小出 友明

7. 当院における治療計画 CT の吸収線量と DRLs2025 の比較・検討

旭川医科大学病院 大内 あゆみ

8. 放射線治療計画 CT における寝台の荷重負荷に対するたわみの影響

市立旭川病院 田邊 俊平

3. リサーチネットワーク委員会活動

2年ぶりの発足となった。今回は「STAT 画像報告」にテーマを絞り、20歳代から30歳代までの広い世代を市内4施設(旭川医大病院・市立旭川病院・旭川赤十字病院・旭川厚生病院)から選出いただき、現状の報告・課題について議論し、研究発表会にて報告した。次年度は、市内外問わず他の施設からの参加も見込まれ、同じテーマにて活動を継続したい。

4. 旭放技『だより』にてワンポイント講座掲載

旭放技『だより』発行に併せて3回/年の掲載を行った。

5. 学術部企画会議

2025年6月6日 第1回学術会議

2025年7月26日 第2回学術会議

2025年10月29日 第3回学術会議

2026年1月23日 第4回学術会議(優秀論文選考委員会)

2025 年度 広報部活動報告

1. 旭放技「だより」
旭川技師会の活動や道技師会の活動・告示などを広報紙にて掲載しました。
2025 年度は 178 号～180 号の計 3 回発行しました。
 2. 会誌
第 47 号では特集Ⅰ：旭川技師会の活動を紹介する「写真で見るこの 1 年」、特集Ⅱ：「我が施設のニューフェイス最新機器、まだまだ現役古株の機器」について会員の皆様に寄稿して頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。
次号 48 号は 75 周年記念合併号として発刊予定です。
 3. ホームページ
行事案内や報告などで 10 回ほど更新しております。
 4. メールマガジン
行事の案内やだより発行の他に月初めに今月の技師会の予定を Vol. 47～60 まで
14 回配信しました。
メールマガジン登録者推移：25 年 2 月 80 名 → 26 年 4 月 87 名
- ご意見、ご要望などがありましたら下記アドレスにてご連絡ください。

旭川放射線技師会 ホームページ
<https://hok-art.or.jp/branch/asahikawa/>

旭川放射線技師会 メールアドレス
asahikawa@hok-art.or.jp

2025年度一般会計科目別収支決算

【収入の部】

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	備 考
当年度会費		2025年度	444,000	252,000	会員229名(うち永年会員8名)→96名
過年度会費		2024年度	196,000	140,000	未納会員28名
		2023年度	46,000	22,000	未納会員11名
		2022年度	10,000	5,000	未納会員5名
		2021年度	6,000	5,000	未納会員1名
		2020年度	32,000	32,000	
		2019年度	20,000	12,000	未納会員2名
補助金			30,000	79,790	
寄附金				25,000	
貯金利息			10	846	
繰越金			178,857	178,857	
合 計			942,867	752,493	

【支出の部】

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	備 考
事業費	事業費	総会費	130,000	201,350	第78回定期総会
		対外事業費	10,000	10,000	
		会員親睦事業	30,000	0	
	学術費	女子部運営費	30,000	14,760	会場費、他
		会員研究発表会	100,000	37,948	講師謝礼、会場費、用紙代、スクリーン代
		ネットワーク委員	30,000	20,000	会場費、他
		学術運営費	80,000	45,000	講師謝礼、会場費
	広報費	会誌	250,000	176,602	会誌発行費
		広報運営費	40,000	27,097	だより発送費 会誌発送費
	会議費	役員会	60,000	46,000	役員会運営経費
管理費	旅費交通費	交通費	10,000	0	役員会交通費
		役員行動費	30,000	10,000	新年交礼会
	通信費	55,000	20,845	封筒代、切手代、発送費 他	
	事務費	10,000	0	事務物品 他	
慶弔費		30,000	10,491	祝電、弔電	
助成費	野球部活動費助成金積立		0	0	
	記念事業積立		0	0	
	備品等購入積立		20,000	20,000	
予備費			27,867	13,500	
合 計			942,867	653,593	
			残金	98,900	

2025年度特別会計決算報告

【野球部活動費助成金積立】

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
繰越金	226,169	交通費&宿泊費補助	140,000
2025年度一般会計助成費より	0	グラウンド使用料(5000円×2)	10,000
		大会参加費	5,000
		昼食代	4,065
		ボール等備品	9,829
		応急処置用品	1,443
合 計	226,169	合 計	170,337
		残 金	55,832

残金55,832円を次年度へ繰越とする

【記念事業積立】

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
繰越金	355,904	次年度へ繰越	355,904
2025年度一般会計助成費より	0		
合 計	355,904	合 計	355,904

【備品等購入積立】

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
繰越金	58,988	サーマルペーパー代	9,790
2025年度一般会計助成費より	20,000		
合 計	78,988	合 計	9,790
		残 金	69,198

残金69,198円を次年度へ繰越とする

監査報告

旭川放射線技師会

会長 畑中 康裕 殿

2026年3月31日

監事 井上 宏紀



中島 弘満



立会人 会長 畑中 康裕

監査結果について

旭川放射線技師会規約第17条の3の規定に基づき、2025年度の会計監査を実施した結果、会計事務全般及び金銭出納簿、支出証拠帳票類が適正かつ正確に処理されている事を認めます。

2026 年度事業計画（案）

2026 年度診療報酬の改定は、3.09%のプラスとなりましたが、依然として厳しい経営を強いられると予想されます。

当会として、病院、国民から求められる診療放射線技師の育成を目指して今年度も活動してまいりたいと思っております。

総務事業としては、会員間の交流の場を設けることも技師会の役割と考え、会員研究発表会やセミナー後に、可能な限り情報交換会を企画していきます。

また、2019 年以来となります、会員親睦事業としてビールパーティー開催を検討いたします。多数の会員の参加をお願いいたします。

野球部の活動ですが、昨年は札幌放射線技師会野球大会参加しましたが、予算的な厳しさもあり、活動を休止することといたします。

女子部会の事業については、今年度も引き続き活動を支援いたします。

学術事業のメイン事業である旭川放射線技師会会員研究発表会は、例年通り対面形式で開催します。学術講演会、セミナーについても対面形式での開催を検討いたします。旭放技だよりにワンポイントレクチャーを掲載し、日常業務に生かせるヒントを引き続き提供します。

リサーチネットワーク委員会を若手技師の育成の場と位置づけて、テーマとして「STAT 画像所見報告」について引き続き研究していただきます。委員の拡充を図り、活動の充実を支援し、会員の皆様に情報共有していきたいと考えています。

広報事業としては、例年通り会誌、旭放技だよりの充実、ホームページ、メルマガを利用した迅速な広報活動を柱に活動してまいります。発行物のフルデジタルを目標としておりますので、まずはメルマガ登録をお願いいたします。また、あさひかわ健康まつりが今年度も開催される場合は、当会としても参加をしていきたいと考えます。

来年 2027 年度は、旭川放射線放射線技師会が創立 75 周年を迎える年であります。その準備として企画を検討してまいります。皆様のご意見をお寄せいただき、盛り上げていきたいと思っております。

日本診療放射線技師会事業としては、「告示研修」が一区切りつき、新たな事業を展開していくこととなっております。生涯教育の e ラーニングについて、当会としても会員に広報していきたいと考えています。

北海道放射線技師会事業では、各種セミナーの開催への協力とともに開催が決定しましたら、広報させていただきます。北海道放射線技師会主催の親睦事業も計画されているので、参加への周知を行います。

今年度も会員ひとりひとりが、主役となれるような活動を目指して参ります。

皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

以上を、2026 年度事業計画（案）として提出いたします。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

2026年度一般会計予算(案)

【収入の部】 2026年度年会費を2,000円とする

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	備 考
当年度会費		2026年度	444,000	0	会員230名(うち永年会員8名)
過年度会費		2025年度	188,000	0	未納会員94名
		2024年度	52,000	0	未納会員26名
		2023年度	24,000	0	未納会員12名
		2022年度	5,000	0	未納会員5名
補助金			30,000	0	北海道放射線技師会助成金
寄附金				0	
貯金利息			10	0	
繰越金			154,732	0	2025年野球部活動費助成金積立 55832円を含む
合 計			897,742	0	

【支出の部】

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	備 考	
事業費	事業費	総会費	80,000	0	第80回定期総会(前回予算130000円)	
		対外事業費	10,000	0		
		会員親睦事業	30,000	0		
		女子部運営費	30,000	0	講師謝礼、会場費 他	
		会員研究発表会	会員研究発表会	100,000	0	講師謝礼、会場費、スクリーン代
			ネットワーク委員	30,000	0	委員会運営経費 他
			学術運営費	80,000	0	講師謝礼、会場費 他
	広報費	会誌	250,000	0	会誌発行費	
		広報運営費	40,000	0	だより発送費 他	
管理費	会議費	役員会	60,000	0	役員会運営経費	
	旅費交通費	交通費	10,000	0	役員交通費	
		役員行動費	30,000	0		
	通信費		55,000	0	封筒代、切手代、発送費 他	
	事務費		10,000	0	事務物品 他	
慶弔費			30,000	0	祝電、弔電	
助成費	野球部活動費助成金積立		0	0		
	記念事業積立		0	0		
	備品等購入積立		20,000	0		
予備費			32,742	0		
合 計			897,742	0		

2026年度特別会計予算(案)

【記念事業積立】

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
繰越金	355,904	翌年度へ繰越	355,904
2026年度一般会計助成費より	0		
合 計	355,904	合 計	355,904

【備品等購入積立】

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
繰越金	69,198	翌年度へ繰越	89,198
2026年度一般会計助成費より	20,000		
合 計	89,198	合 計	89,198